

平成25年度
決算の
ご報告

「納付金」負担が26億円に迫り、 2年連続の赤字決算に

平成25年度の決算は、実質収入額42億7,196万円、実質支出額51億4,881万円で収支差額は8億7,685万円のマイナスとなり、2年連続の赤字決算となりました。

収入面では、被保険者数が24年度に比べ約400人の大幅増となりましたが、平均標準報酬月額が減少したために、保険料収入は約4,000万円の増加に留まりました。一方、支出においては、高齢者医療を支えるための「納付金」が24年度に比べて約4億7,000万円の大幅増となり、収入の60%を超える深刻な事態となりました。

このため、今年度から保険料率を引き上げさせていただくことでなんとかこの危機的状況に対応してまいります。しかしながら、今後もすぐに事態は好転することを見込まず、皆さま一人おひとりのご協力が不可欠です。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

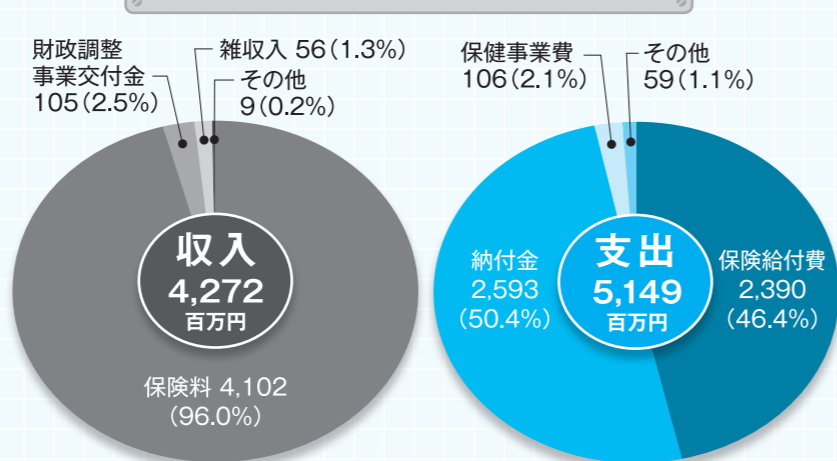
平成25年度 決算のポイント

- ① 実質収支では
2年連続の赤字
(赤字額:8億7,685万円)
- ② 納付金は
25億9,343万円で収入の
60%を占める

健康保険決算のあらまし

科目	金額(千円)
収入	
保険料	4,101,861
財政調整事業交付金	104,518
雑収入	56,165
その他	9,420
A 合計	4,271,964
支出	
保険給付費	2,389,894
法定給付費	2,349,209
付加給付費	40,685
納付金	2,593,433
前期高齢者納付金	1,246,211
後期高齢者支援金	1,082,043
退職者給付拠出金	265,149
老人保健拠出金	30
保健事業費	106,080
その他	59,411
B 合計	5,148,818
収支差額: A-B	▲876,854

実質収支をグラフで見ると (単位:百万円)



決算の基礎となった数値

- 被保険者数 ……9,302人
- 平均標準報酬月額 411,260円
- 平均年齢 ……43.07歳
- 被扶養者数 ……10,871人
- 扶養率 ……1.16人
- 前期高齢者加入率 ……2.08%
- 保険料率 ……千分の72 (調整保険料率含む)
- 事業主 ……千分の45
- 被保険者 ……千分の27

介護保険決算のあらまし

科目	金額(千円)
収入	
介護保険収入	463,565
雑収入	156
A 合計	463,721
支出	
介護納付金	436,368
介護保険料還付金	15
B 合計	436,383
収支差額: A-B	27,338

決算の基礎となった数値

- 介護保険第2号被保険者数 ……7,853人
- 介護保険第2号被保険者たる被保険者数 ……5,377人
- 平均標準報酬月額 ……468,851円
- 介護保険料率 ……千分の12
- 事業主 ……千分の6
- 被保険者 ……千分の6



ご挨拶

北陸電力健康保険組合
理事長 平 敏宏



平素は当健康保険組合の事業運営に対し、格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。この度、村田前理事長の後を受け、当健康保険組合の理事長に就任いたしましたので、一言ご挨拶させていただきます。

当健保組合では、平成20年度から導入された高齢者医療制度への「納付金」増加による財政状況の悪化に伴い、平成26年度から保険料率を引き上げさせていただきました。今後3年程度は現状レベルで維持できると想定しておりますが、引き続き高齢化の進展などによる医療費の増加が見込まれることから、先々は予断を許さない状況にあります。

現在、国の審議会において、社会保障制度見直しの議論が進んでおります。そうした中、健康保険組合連合会(健保連)では、高齢者医療を支える現役世代の負担を少しでも和らげるため、「あしたの健保プロジェクト」を展開しています。皆さまには、健保連のHP上で「健保VOTE」に賛同投票いただくなどのご協力

をお願いいたします。(下記をご覧ください)

将来にわたり健康保険制度を健全に維持していくためには、医療費の削減が不可欠です。そのためには、私たち一人ひとりが、食事や運動などの生活習慣を見直し、健康づくりや病気の未然防止に取り組むことが大切です。また、不幸にして病気がかかったとしても、複数の医療機関にかかる「はしご受診」や急病でもないのに時間外に受診する「コンビニ受診」を控え、価格の安いジェネリック医薬品の使用を心がける必要があります。

当健保組合では、人間ドックや各種検診事業、予防接種等の保健事業を中心に皆さまのサポートに努めております。病気の早期発見や予防のため、積極的にご利用いただき、皆さまやご家族の健康にお役立てください。

微力ではございますが、当健保組合の安定運営、発展のために最善の努力を尽くす所存ですので、変わらぬご支援とご協力のほどをお願い申し上げます。

「あしたの健保プロジェクト」が展開されています!

健康保険のみらいをみんなでつくる / あしたの健保プロジェクト

全国の健保組合は平成20年度以降、7年連続の赤字財政となっています。健保組合の被保険者1人あたりで負担する高齢者医療への拠出金は全国平均で、制度創設前の平成19年度の14.7万円(年間)から平成26年度は21.2万円に増え、1人あたりの年間保険料もこの7年間で8.3万円増加しています。

今後、私たち現役世代の負担はさらに増えることが予測され、結果的には国民皆保険制度の破たんにもつながりません。このような状況をみなさんに広く知っていただくため、健保連では「あしたの健保プロジェクト」を立ち上げ、広く広報活動を行っています。当健保組合でも高齢者医療制度の見直しの実現へ向け、健保連と連携してまいります。

「あしたの健保プロジェクト」3つの主張

- ① 国民皆保険制度を維持しよう!
- ② 現行の保険制度による、現役世代の負担を改善しよう!
- ③ 高齢者医療費への公費(税金)負担を増やし、現役世代の負担を軽減しよう!

「健保VOTE」で賛同投票をお願いします!

健保連では特設サイトを開設し、あしたの健保プロジェクトの3つの主張に対する投票を実施しています。「賛同する!」ボタンをクリックするだけです。ぜひみなさんの声をお届けください。

www.ashiken-p.jp

あしたの健保

検索

自宅でカンタン！
郵送するだけ！

がん検診 を受けましょう！

対象者 当健保組合の被保険者・被扶養者で30歳以上の方
ただし、子宮頸がんは20歳以上、前立腺がんは50歳以上
(2015年3月末時点での年齢)

- 検査項目**
- ①大腸がん検診 …… 便潜血検査(トランスフェリン同時測定)
 - ②胃がんリスク検診 …… 血液検査
 - ③子宮頸がん検診 …… 細胞診
 - ④肺がん検診 …… 喀痰細胞診
 - ⑤前立腺がん検診 …… 血液検査

詳しくは同封の
「がん自己検診のご案内」
をご覧ください



インフルエンザ予防接種を受けましょう！

- 補助対象者** 当健保組合の被保険者・被扶養者で64歳までの方。
ただし、市町村から助成を受けている方は対象外となります。
- 補助対象期間** 10～3月までの接種
- 補助額** 一人1,000円を限度に補助(年度内1回に限ります)

申請方法 接種を受けた方の名前が記載されている医療機関発行の領収書(原本)を添えて、各事業所または当健保組合に申請してください。



薬の斡旋配付を行います

今年も、家庭用常備薬等の斡旋配付を行います。申込用紙を配付しましたので、ぜひご利用ください。

被扶養者の現況調査に

ご協力ありがとうございました！

当健保組合では、「平成26年度被扶養者現況調査」を実施いたしました。



当健保組合では、皆さんから提出いただいた調査表の内容確認・審査を行っており、審査の後、非該当(認定否認)とされた方に対して、ご連絡いたしますので、国民健康保険などへのご加入の手続きをお願いいたします。

平成27年1月から 高額療養費制度の 自己負担限度額が変わります

医療費の自己負担割合は通常3割ですが、重い病気入院したりすると、自己負担が高額になることがあります。ただし、医療費の自己負担額には限度額があり、それを超えた額は「高額療養費」として健保組合から支給されます。

現在この限度額は、「低所得者」「一般所得者」「上位所得者」の3区分に分けて計算されていますが、平成27年1月からは、70歳未満の方については5区分に細分化されます。

見直し前		見直し後	
70歳未満	月単位の自己負担限度額	70歳未満	月単位の自己負担限度額
上位所得者 (標準報酬月額 53万円以上)	150,000円+(医療費-500,000円)×1% ※4ヵ月目からは83,400円	標準報酬月額 83万円以上	252,600円+(医療費-842,000円)×1% ※4ヵ月目からは140,100円
一般所得者 (上位所得者・ 低所得者以外)	80,100円+(医療費-267,000円)×1% ※4ヵ月目からは44,400円	標準報酬月額 53万~79万円	167,400円+(医療費-558,000円)×1% ※4ヵ月目からは93,000円
低所得者 (住民税非課税)	35,400円 ※4ヵ月目からは24,600円	標準報酬月額 28万~50万円	変更なし
		標準報酬月額 26万円以下	57,600円 ※4ヵ月目からは44,400円
		低所得者 (住民税非課税)	変更なし

「要治療」「要精密検査」があったら

病気の可能性が高い状態ですので、できるだけ早く専門の医療機関を受診して詳しい検査を受けてください。

「要再検査」「経過観察」があったら

基準値を外れている項目がありますので、健診結果に書いてある指示に従ってください。

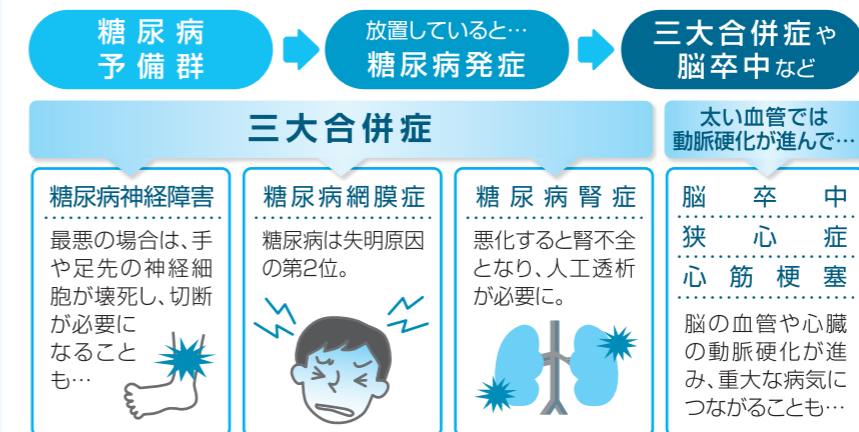
「正常」「異常なし」だったら

今の健康状態をキープしましょう。ただし、正常の範囲内でも数値が悪化している項目があったら注意し、よい生活習慣を続けていきましょう。

例 糖尿病の場合

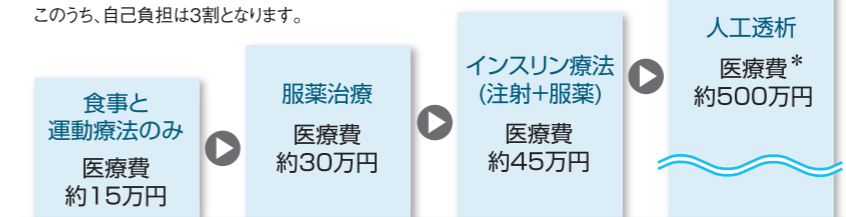
放置すると
こんなにこわい！

糖尿病でとくに怖いのは、
進行するとおこってくる、三大合併症。



【1年間の医療費目安】

*金額は一般的な例であり、個々のケースにより異なります。このうち、自己負担は3割となります。



*糖尿病腎症が進行して人工透析になり「特定疾病」の認定を受けると、自己負担は月1万円(上位所得者は2万円)となります。都道府県の助成が受けられる場合もあります。

健診は、受診することにはもちろん、その結果を活かしてこそ受ける意味があります。とくに、健診結果が基準値から外れていた方は、早めに治療や生活習慣改善に取り組みしましょう。

健診を受けっぱなしに していませんか？

受けた後が大変です！



実践しよう！生活習慣病を予防・改善する生活を

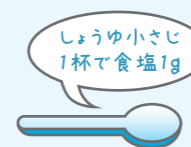
1 主食・主菜・副菜を組み合わせ、野菜・果物の摂取量を増やす

バランスよく主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を1日2回以上とる。野菜や果物に含まれるカリウムを多く摂取することで血圧低下が期待でき、また食物繊維はコレステロールの排泄を促します。



2 減塩(食塩摂取量を1日8g以下に)

1gの減塩で収縮期血圧が、高血圧者で1mmHg、非高血圧者で0.5mmHg低下することがわかっています。



3 適正体重(BMI18.5以上25未満)の維持

肥満の人は、多くの血液を循環させる必要があるために血圧が高くなります。また肥満によりインスリンが多く出されると、インスリン抵抗性が高まり糖尿病を発症しやすくなります。

4 喫煙者は禁煙を、非喫煙者は受動喫煙の防止を

5 1日8,000歩~10,000歩以上歩く

歩数を1,500歩増やすと高血圧者は収縮期血圧2~3mmHg、非高血圧者で1.5mmHgの血圧低下が期待できます。運動はコレステロールや血糖値のコントロールにも有効です。

6 日本酒換算で1合程度の適量飲酒を

日本酒換算で2合以上の飲酒量を1合に減らすと収縮期血圧5mmHgの低下が見込めます。